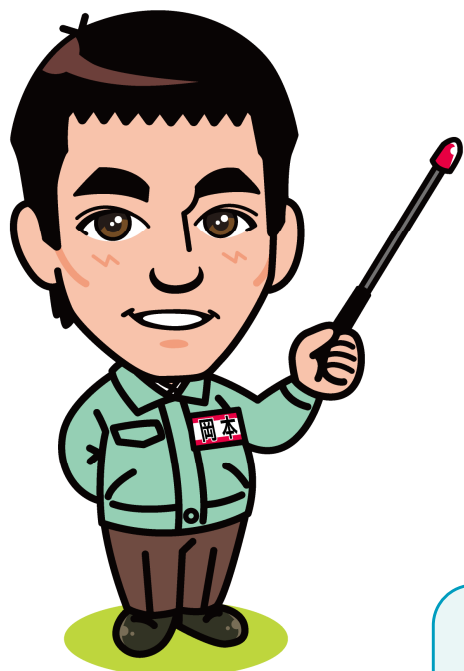


データはあるけど、活用できていない企業にお勧め



在庫管理アドバイザーが  
教えます！

# エクセル<sub>だけでOK!</sub> 在庫分析 研修

こんなお悩みにお勧め！

- 在庫削減、どこから着手すべき？
- 適正在庫のロジックを作りたい
- 在庫金額の目標の決め方が分からない

# 生データ、活用できていますか？

会社には『生データ』がたくさんあるが活かされていない

確かにデータはたくさんあるけど、、、

- ◆ データが使いにくい・・・
- ◆ まとめるのが大変・・・
- ◆ 分析の仕方が分からない・・・



データは  
いっぱいある！



データはあなたの会社にしかない「財産」です  
データには、目標達成・課題解決のヒントが必ずあります

# 研修対象者

研修の受講者は、適正在庫の設定や在庫削減に悩んでいて在庫分析を学べば効果が実感できる業種、担当者を想定しています。

## ◆主な業種

- 製造業、卸売業、小売業

## ◆日々在庫データに触れている担当者、部署

- 業務：生産管理、仕入れ・調達・発注

## ◆目標設定に悩む経営層

- 最適な在庫金額や削減目標
- 現場に落とし込むKPIの設定

部署ごと、会社全体などグループ研修も可能です

# エクセル在庫分析を勧める理由

---

## ■既にパソコンに入っている

ウィンドウズを使っているのであれば、エクセルは元々入っているソフトです。新たにシステムを導入するなどの費用をかける必要はありません。

## ■現場がすぐに使える

従業員が日々の仕事のなかで感じた「こんなことがわかればいいのに」、「もしかするとこんなことが原因なのかも？」といった漠然とした問題意識や疑問を自由な切り口で分析できる。

# 『現場』だからこそできる分析がある

「分析＝知識と専門家が必要」と思っていないですか？

実は、難しい統計学の知識や高度な分析手法をマスターする必要は一切ありません。

実務に必要な分析力は、仕事で得た業務的な経験や知識を頼りに

**データから課題や問題点を読み解く力**です。

	現場のための在庫分析	高度な統計分析
実施する人	経営者、担当者	専門家、研究者
必要な知識	四則計算が中心	統計学や専門的な数式
利用するツール	エクセル	統計・分析専用ソフト
分析結果の解釈・読解力	分かりやすく、誰でもできる	専門的な知識が必要
データの背景や理由	経験や勘で何となくわかる	実務経験が無いので全く分からない

**仕事の経験や知識があるからこそ分かる「勘」を活かして、客観的にデータから読み解けるようになります**

できるようになること

# 「データの裏側」を読み取れるようになる

また売上が落ちてい  
るぞ！何とかしろ！



研修前

データを見てにらめっこ  
をしているだけ。  
原因不明で、何をすれば  
よいか分からない。。

研修後

頑張っているんですけど、  
なぜダメなのか分からな  
いんです・・・

自分自身の勘と経験をもと  
に分析できる！  
原因を見つけられる。

**担当者自身で課題に対する要因が分析でき、  
『効果的な対策』が打てる**

# 会議が「意味のあるもの」になる

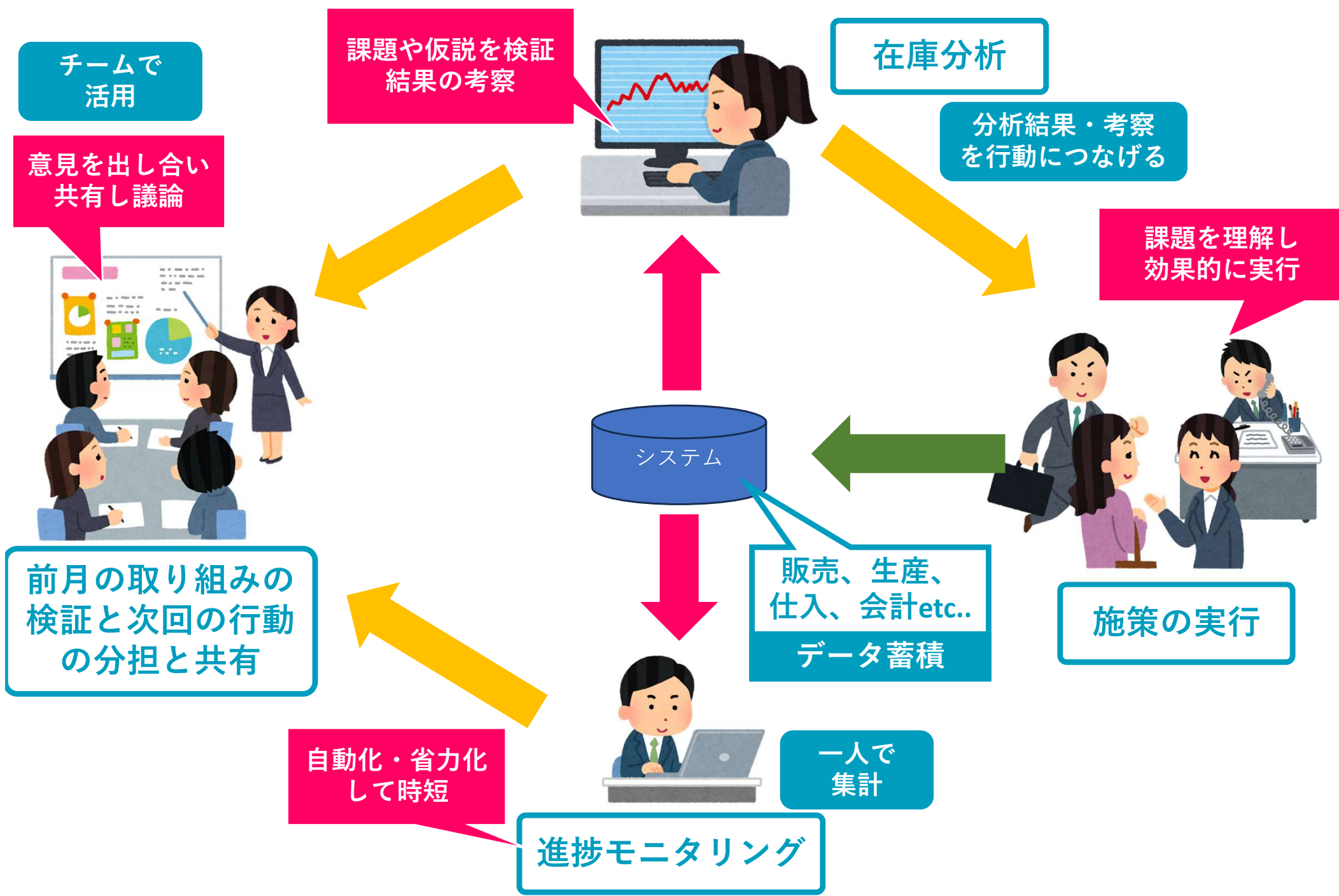


よくある従来の会議

意味のある会議



# データを起点とした業務体制の実現



# 研修の内容

# 研修で学ぶこと

---

## 1. データの整備

---

分析に適したデータを理解し、用意・整備できるようになる。

## 2. データをまとめる

---

課題や目的に応じて、エクセルだけで集計表やグラフ化できる

## 3. データを読み解く

---

要因の特定やデータの検証ができるようになる。

**エクセルで在庫分析をするために  
必要な「全て」が学べます**

# 研修のカリキュラム内容

	主な内容
1か月目	<ul style="list-style-type: none"><li>• 【座学】 生データを扱う上での基本と準備</li><li>• 【座学】 在庫分析手法・効果的な進め方</li><li>• 【実習】 自社の課題、やりたい事を挙げる</li></ul>
2か月目	<ul style="list-style-type: none"><li>• 【座学】 数字の使い方と見方、指標の作り方</li><li>• 【実習】 エクセルによる在庫分析と自動化</li><li>• 【実習】 データ加工、分析を実施する</li></ul>
3か月目	<p>【実習】 洗い出した課題に対して必要な集計・分析を自ら考えやってみる。</p>

3か月間で在庫分析の基礎から実践への応用までをマスターします。研修では、サンプルデータではなく、自社のデータを使います。そのため、研修で作った分析結果がそのまま実務に直結します。

# 【参考】主に学ぶデータの分析方法

1. 生データの加工方法
2. 演算法と帰納法
3. グループ化分析
4. ドリルダウン・ドリルアップ
5. スライス分析
6. 異常値分析
7. 比較・対比分析
8. ダイス分析
9. 逆トーナメント分析（傾向分析）

実際には複数の分析を組み合わせて  
利用することが多い

# 【参考】分析に役立つエクセル機能の3本柱

エクセルの機能全て理解し使いこなす必要はありません。

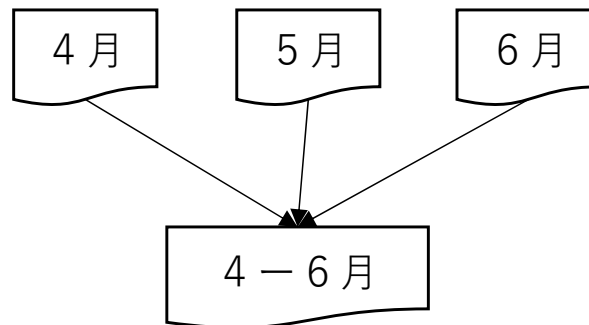
なぜなら、『**エクセルに詳しい人＝分析力がある人**』ではないからです。

分析やデータの考え方に加えて、特に重要な3つのエクセルの機能をご紹介します。

## 条件付き書式

商品群名	2022年度	2023年度	増減額	前年伸び率	
商品グループ1	#####	#####	#####	97.8%	→
商品グループ2	#####	#####	#####	119.9%	→
商品グループ3	#####	#####	#####	87.1%	→
商品グループ4	#####	#####	#####	100.9%	→
商品グループ5	#####	#####	#####	110.0%	→
商品グループ6	#####	#####	#####	121.4%	→
商品グループ7	#####	#####	#####	75.1%	↓
商品グループ8	#####	#####	#####	103.3%	→
商品グループ9	#####	#####	#####	75.1%	↓
商品グループ10	#####	#####	#####	78.1%	↓
商品グループ11	#####	#####	#####	105.0%	→
商品グループ12	#####	#####	#####	105.9%	→
商品グループ13	#####	#####	#####	108.0%	→
商品グループ14	#####	#####	#####	140.0%	↑
商品グループ15	#####	#####	#####	122.4%	→
総計	#####	#####	#####	100.1%	→

## パワーケリ

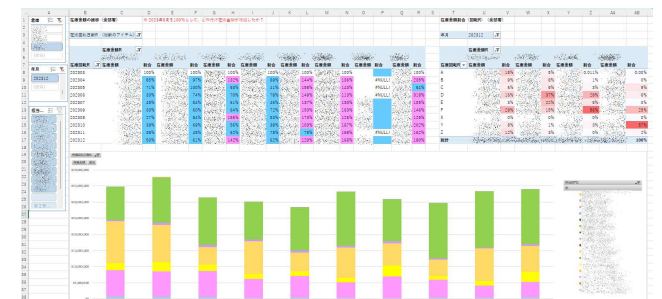
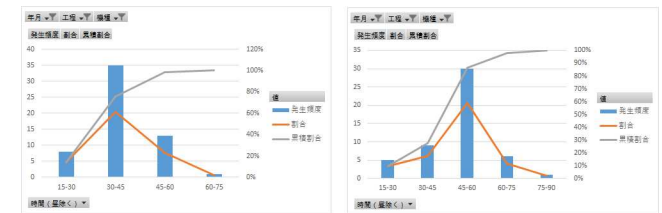


エリア	販売日	販売数
東京	12/12	95
東京	12/23	55

東京で12月以降で、50個以上販売したものだけを絞りこみ

エリア	販売日	販売数
東京	12/12	95
東京	12/23	55

## ピボットテーブル



データの状況を塗りつぶしなどでビジュアル化して、見える化できる

生データを用意するだけで、月別ファイルを一つにまとめたり、更新や特定データだけの抽出・削除など、加工や準備の手間を自動化できる

データを自由に集計表やグラフ化できる。分析や進捗管理に使用する

# 研修の感想と成果事例

# 【感想】 研修を受講した企業様の声

< 受講者様データ >

年商約200億円、医薬品製造業（創業50年超の老舗）の生産管理部の皆様

## ■ 研修を受ける前の主な課題や悩みは何でしたか？

- 欠品と過剰在庫の改善
- 蓄積されている在庫データの活用が全くできていない。
- 値上げによる在庫への影響が推測できない
- 国内外、原料・製品が入り乱れた入出庫のため管理が困難

## ■ 研修を通じて、どのような改善や意識の変化、成果が見られましたか？

- 製造部門だけでなく営業部門との情報共有が必要と考え、会議の方針を変更
- 各担当者が頻繁に在庫データを確認し、常に在庫を意識できるようになった
- データ抽出は情シス頼りだったが、課内全員が操作可能になった
- 曖昧な判断はやめ、数値化して評価する意識を持った
- 何十年も続いていた作業を根底から見直す機会を得られた

## ■ 研修を受けたことで、特に一番良かった点、助かった点は何ですか？

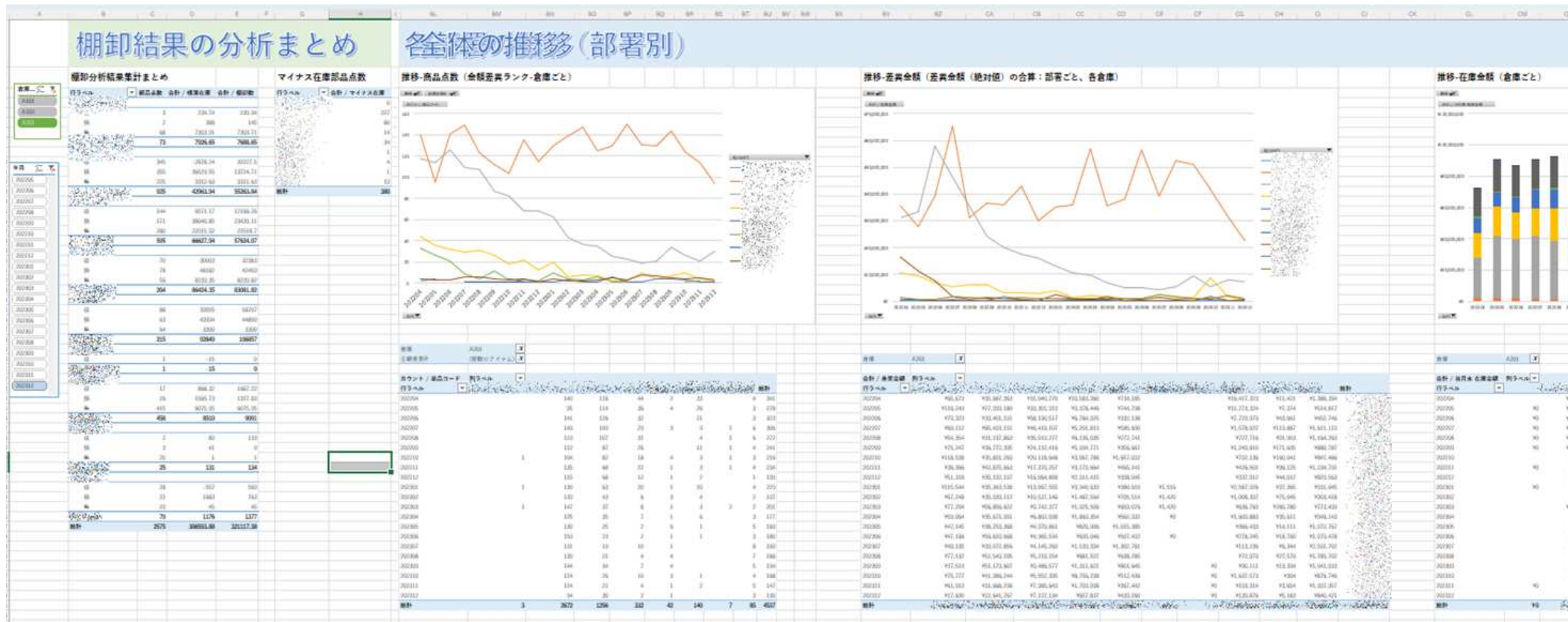
- 岡本先生からの具体的に掘り下げていく質問に答えられない場面が何度かあり、情報不足を痛感できた。
- 全製品が同じ条件で在庫管理するのではなく、それぞれの前提条件に基づいて管理が必要と知ることができた



# 事例①-棚卸作業の効率化と精度向上

## 課題

- 棚卸結果の作成に時間がかかる
- 棚卸に時間がかかる
- 棚卸の精度を向上させたい

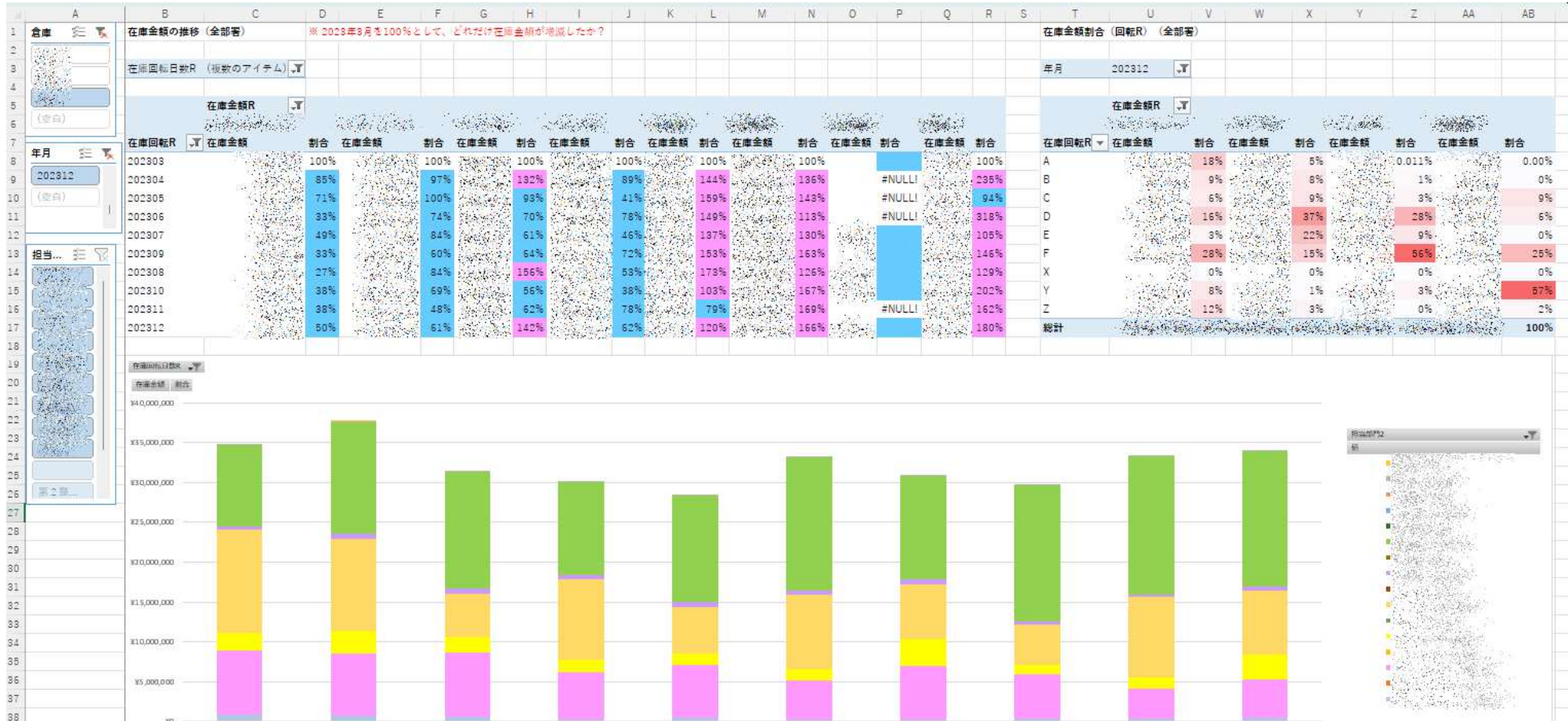


1. 棚卸結果の作成に90分かかっていたが、7分でできるようになった。
2. 棚卸結果や課題となっている重要な指標をダッシュボード化して進捗管理化。
3. 精度向上のために各部署がやるべき課題が見え、具体的に取り組めるようになった。

# 事例②-在庫削減の進捗管理と改善点の発見

## 課題

- 在庫が多いが、どの部署から手を付けて良いのかが分からない。
- 集計・分析に手間がかかるので何もできていない。



1. 集計・分析表が10分で作れるようになった。
2. データ分析の手順が分かり、どの部署から手を付ければ良いかが明確になった。

# よくある質問

---

Q. 製造や調達に関係のない部門でも研修できますか？

A. 可能です。在庫に関係する業務であれば問題ありません。

Q. 準備物は何かありますか？

A. Windowsのパソコンとエクセルをご用意ください。エクセルのバージョンは、2013以降が望ましいです。

Q. データは必要ですか？

A. 必要です。自社のデータを使って実際に分析しながら研修を進めます。データが無い、使えない場合は研修を受けられません。

Q. エクセルは得意じゃないので不安です。本当に大丈夫ですか？

A. 大丈夫です。難しい機能や関数は使わないので、エクセルを触ったことがあるというだけでも大丈夫です。

Q. 研修期間の調整は可能ですか？

A. 2～6か月間で調整可能です。研修期間を長くすれば「実習」の時間をより多くします。

# 会社概要

## ◆ 経営理念

### 「より良い」の実現のために常に考え実践し続ける

「もっと良くなるはず！」と考えることをやめず、実践し続ければ、必ずその想いは実現し、働く仲間もお客様もそして社会も必ず幸せにできると信じています。  
人の力を活かし、引き出し、組織が仕組みを「使いこなし、維持、改革」ができるようにする

## ◆ 会社概要

会社名	瀬戸内scm株式会社
資本金	100万円
代表取締役	岡本 茂靖（在庫管理アドバイザー、日本物流学会理事）
設立	2019年9月4日(創業 2015年12月1日)
本店	〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目36-1
相生事務所	〒678-0041 兵庫県相生市相生

## ご連絡先



# 瀬戸内scm株式会社

メール：[ask@shikumika.com](mailto:ask@shikumika.com)（サポート窓口）

電話：090-4468-9045（携帯直通）